

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第2回宮古市市民自治推進委員会を次のとおり開催しました。

令和6年7月22日

宮古市市民自治推進委員会

- 1 開催日時
令和6年6月27日（木） 午後1時00分～午後4時30分
- 2 開催場所
宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」1階 会議室1・2
- 3 議題
令和5年度実施提案事業の評価について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
宮古市市民自治推進委員会事務局 宮古市 企画部 企画課
電話0193-68-9061

令和6年度第2回宮古市市民自治推進委員会【開催結果】

- 1 日 時 令和6年6月27日（木）午後1時00分～午後4時30分
- 2 場 所 宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」1階会議室1・2
- 3 委 員 (1) 出席者：10名（委員15名中半数以上出席につき、会議成立）
 ① 昇高茂樹（委員長） ② 戸由忍（副委員長） ③ 八島彩香
 ④ 本多政彦 ⑤ 澤田亮 ⑥ 川上寿恵 ⑦ 志賀政信
 ⑧ 小林智恵子 ⑨ 門坂知実 ⑩ 佐々木聡子
 (2) 欠席者：5名
 ① 三浦博勝 ② 香木みき子 ③ 祝田誠 ④ 長洞慶幸
 ⑤ 小野寺美賀子
- 4 事務局 9名
 (1) 企画部
 ① 企画部長 多田康 ② 企画課長 箱石剛
 ③ 同課 企画調整係長 工藤真奈美 ④ 同係 主事 三浦奈穂
 (2) 市民生活部
 ① 市民生活部長 若江清隆 ② 生活課長 伊藤宏子
 ③ 同課 男女参画・協働推進係長 小向和美
 ④ 同係 主査 名取綾子 ⑤ 同係 主任 中島奈穂子

5 団 体

No	事業名	事業実施主体名
1	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会
2	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」の年間事業	みずき会
3	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい
4	めぎせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会
5	昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい
6	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体
7	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出	鍬ヶ崎元気市の会
8	こどものまち「みやっこタウン」を軸とした小学生のキャリア教育事業の実践とネットワーク形成	NPO 法人みやっこベース
9	企業の魅力を調査発信する取材型インターンシップ事業	NPO 法人みやっこベース

- 6 事業担当課
- (1) 宮古歯科医師会
保健福祉部 健康課 新里保健センター
主任保健師 永田絵里花
会計年度任用職員 坂下由記子
 - (2) みずき会
産業振興部 産業支援センター 商業労政係長 工藤翠
主事 上木楓馬
 - (3) 特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい
保健福祉部 こども家庭センター 子育て支援係長 若江奈津子
 - (4) 宮古市食生活改善推進員協議会
保健福祉部 健康課 成人保健係 主査 加藤富久子
 - (5) 昭和通りのおかみさんもてなしたい
産業振興部 観光課 もてなし観光係 主事 判田玲旺
 - (6) 社会的自立支援共同事業体
保健福祉部 福祉課 地域福祉係長 中村寛亮
主任社会福祉士 澤口英明
 - (7) 「鍬ヶ崎に賑わいを！！」港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出
産業振興部 産業支援センター 産業支援係長 畠山善徳
主事 木村孝輝
 - (8) NPO 法人みやっこベース
教育委員会 学校教育課長 菊池正幸
 - (9) NPO 法人みやっこベース
産業振興部 産業支援センター 商業労政係長 工藤翠
主任 工藤遼
- 7 傍聴者 0名
- 8 議事等 生活課長が会議の成立要件に基づき委員会の開会を宣言。市民生活部長、委員長の挨拶後、委員長が議長となり、会議を進行。
(1) 令和5年度実施分提案事業の評価について
- 9 挨拶 (1) 市民生活部長
(2) 委員長
- 10 議事(概要)
- (1) 令和5年度実施分提案事業の評価について
(事務局説明：生活課 男女参画・協働推進係)
資料1～資料4に基づき、評価方法について生活課から説明。
その後、提案事業実施団体及び担当部署から事業報告のプレゼンテーションを行い審査。各委員から質疑応答を受け評価を実施した。
※プレゼンテーション内容は省略。次のとおり意見・質疑を受けた。

■ 8020 運動推進事業「みんなの歯を磨き隊」【宮古歯科医師会】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古歯科医師会</p> <p>Q：委員長</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>実施報告にボランティアの活動があるが、収支決算書は予算額132,000円だが決算額は0円である理由は何か。</p> <p>ボランティアが少数だったことから、今年度は支出を見合わせました。</p> <p>無償のボランティアとして協力してもらったということか。</p> <p>施設の保育士等で行っていたというのが実情です。</p>
<p>Q：委員長</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>報告書 P11_17 番の認定こども園そけい幼稚園ではマンパワー不足で実施できなかったとあるが、ボランティアが不足してできなかったということか。</p> <p>コロナ禍もあり、ボランティア活動に携わる方が少なくなりました。今後も感染予防に注意しながら進めないとボランティア活動する人は少なくなります。今後はその辺りも含め、調整したいと思います。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：担当課</p>	<p>歯磨き実施状況の実人数と延べ人数の違いは何か。</p> <p>実人数は、保育施設所属の園児数です。延べ人数は、例えば、20人の園児に3回実施したら、60人という数え方をしています。</p>
<p>Q：副委員長</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>これまでの事業経過と課題の部分を行政と共有出来ていて、良い説明だった。</p> <p>平成30年度から、う歯有病者率が相当に下がっているということだが、最終的には有病者率ゼロを目指すための一番大きな壁はどこか。</p> <p>そして、今後行政と共に進めていくときに、その壁を超えるために行政に期待するのはどのようなことか</p> <p>一番は糖分を含んだものの摂取量を減らす等することですが、全く摂取しないわけにはいきません。食後の歯磨きの習慣づけから始まり、予防措置としてフッ化物洗口を行っています。3歳までの有病者率はだいぶ下がりましたが、5歳はまだ3割くらいの子にう歯があります。</p> <p>保護者の理解を深めながら、また、歯科医院において指導や予防措置を徹底的にやらない限り、ゼロには近づ</p>

発言者	内容及び発言要旨
	<p>きません。あくまで最終的な目標であり、すぐに結果が出るとは思っていませんが、長い時間をかけ、少しずつでも近づけていきたいと思います。</p> <p>行政とは、健診結果の共有等、常に情報交換をしながら進めていきたいと考えています。</p>
<p>Q：委員長</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>これまでコロナ禍の影響があったと思う。今年度の事業の手応えはどうか。</p> <p>保育園等で健診した結果、コロナ禍はあったものの、明らかに有病者数は減っています。しかし、何本もう歯のある子があり、ネグレスト気味等の家庭状況の情報を共有しています。</p> <p>5歳児においては例年並みで、3歳児は下がっています。</p>

■ コミュニティガーデン「花かおる散策路」の年間事業【みずき会】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：担当課</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員</p>	<p>令和6年度第1回宮古市市民自治推進委員会での「提案事業の見直しについて」の説明は、5年以上継続している事業は、必要だから続けてきたため今後は担当部署において予算を立てる、という話だったと思う。自己収入を得ることは必要だと思うが、担当部署として予算を立てられるのか。</p> <p>担当課と団体で、収益事業やブラッシュアップを踏まえ、検討を行っています。</p> <p>観光、商業、客船対応の要素と、他課と関わる部分をボランティアなどところでやっていただいたり、費用の一部を商店街で負担していただいたりしています。令和7年度は電柱地中化工事もあり、末広町から中央通りにつながる、それぞれの通りとして取り組んでいるところもあります。</p> <p>みずき会や商店街と話をしながら、来年度以降も良い活動を残していけるよう、進めていきたいと思います。</p> <p>良い事業なので提案事業から卒業だ、という市の説明があった。提案事業に提案できなくなったら事業が無くなった、ということがないようにしてほしい。</p>

発言者	内容及び発言要旨
Q：副委員長	<p>繰り返しになるが、5年以上継続しているから安定した事業ではないか、ということで委員も行政に任せる、というところに落ち着いたと思う。ところが団体は、予算が確保されるか不安そうな雰囲気があった。事業の継続は確約されていて、どうやるか、という話だけだと思う。</p> <p>市と委員の間に齟齬が生じていることを整理し、団体が不安な気持ちを持たずに前に進めるような形を作って欲しいというのが、委員の共通した思いである。</p>
Q：委員長 A：みずき会 A：事務局	<p>決算の自己資金は、売上げが加味されているのか、それとも、何か他の資金なのか。</p> <p>会費と売上げの一部が充てられています。会費は、毎年一人2,000円×会員20人で40,000円となります。それだけでは事業を続けられず、提案事業として委託料で活動してきました。これがなくなると不安はあり、せっかくここまで自分たちの趣味のためではなく、まちのため、市民の憩いのため、という思いで環境整備をやってきましたので、どこかの課で少しでも継続させてほしいです。事業縮小はしたくはありませんが、全額というのは難しいと考えています。色んな事を考えながら、なるべく縮小せずに続けていきたいです。</p> <p>提案事業の見直しについて、協働の効果等を認められて継続してきたことから、令和7年度からは一般事業とすることを、前回の会議で説明させていただきました。</p> <p>予算の不安が出ていますが、それぞれの事業の担当課で予算を要求していきますので、今の時点で100%大丈夫と言い辛いところがあります。しかし、今回ご審議いただいた意見を参考にしながら、新年度の予算等の事業計画を作り上げていくこととなりますので、あまり悲観的な見方はしなくて良いと考えます。</p>
Q：委員長 A：みずき会 Q：委員長 A：みずき会	<p>収益はどのくらい得られているか。</p> <p>材料は宮古のハマギクを送り、平泉のかをり創造プロジェクトで製作します。30個限定、1,200円で仕入れ、2,000円で販売しました。</p> <p>収益の太い柱というわけではなく、少しずつという考えか。</p> <p>そのとおりです。</p>

■ 家庭訪問型子育て支援事業【特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員長</p> <p>A：担当課</p> <p>A：事務局</p>	<p>担当課としては、提案事業が終了した後、どのように取り組もうと考えているか。</p> <p>継続することが必要だと考えています。国庫補助事業や、他の事業を補助金等の活用を検討する等、財源を確保して継続したいと考えています。</p> <p>提案事業がなくなるわけではなく、今までのような審査や評価などを省き、市として必要な事業として取り込めるものがあれば、取り込んでやっていこうという趣旨で説明をしてきました。</p> <p>この財源がなくなるから、他の財源を見つけるということではありません。</p> <p>今日の評価で、これからも続けるべき、という評価が出るのであれば、しっかり財源は確保すべきですし、続けるために市は知恵を絞っていきます。強い心配を持たなくても大丈夫です。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員</p>	<p>団体と担当課でフォローし合っていくために、「市が介入することに抵抗を感じる人」と「市が介入することで安心感を覚える人」の2種類の人たちをどのような方法で連携し、取り込んでいこうと考えているか。</p> <p>全く知らないボランティアを自宅に迎え入れる事業なので、民間団体のボランティアが訪問するというよりも、市の後ろ盾がある状態で事業を実施することで安心感を持っていただけると考えています。</p> <p>お互いに良い味方になって事業を続けていただきたい。</p>
<p>Q：副委員長</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>成果①不安や困り感の解消、の充足度 97%の分子と分母は何か。</p> <p>P28_利用を希望する際に、今何が辛くて、何をしたいかを聞き取りし、訪問終了後は達成度をチェックする表があります。</p> <p>例えば「1 孤立感の解消」であれば、子育て中で社会とのつながりがなく、ママと子どもだけで孤独を感じている方は、ニーズにチェックが入ります。訪問が終了した時に、達成及び一部達成にチェックが入っていればカウントし、充足度が出る仕組みです。</p>

発言者	内容及び発言要旨
Q：副委員長	理解した。ニーズ数が 39 ある中、38 の達成は極めて高い達成率であり、もっとアピールした方が良い。悩んでいた方の 97%が満足できたことは驚異的な話であり、感心した。

■ めぎせ！元気なみやこっ子食育教室【宮古市食生活改善推進員協議会】

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員長	それぞれの地区において、何校中何校実施できているか。
A：担当課	田老、新里地区はそれぞれ1校なので毎年実施しています。宮古地区は10校あり、半数ずつ実施しているため、隔年度での実施となっています。
Q：委員長	2年程度で全校回れるということか。
A：担当課	そのとおりです。 しかし、体験できないまま卒業してしまう児童もいます。その場合はテキストを配布し、学校を通して食育を普及していただくようにしています。
Q：委員	全校で実施できない理由は何か。
A：担当課	団体の会員数が、養成はしていますが以前に比べ減少していることもあり、会員の負担が大きいからです。
Q：委員	全児童にまんべんなく実施できる方法や希望などがあるか。
A：担当課	会員数を増やせるよう、養成教室を開催しています。 また、学校数が減ってきているため、全校に入れるよう協議をしています。
Q：委員	1週間後の聞き取り調査から、実際に家庭で調理をした児童が3割いることはすごいことだと思う。家でも料理をしてください、というような指示をしたのか。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	指示というよりも体験した児童の意欲です。「おうちでも作ってみたい」、「勉強になった」、という声が聞こえてくるので、この数字が出ていると思っています。

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員</p> <p>A：事務局</p>	<p>食材について、地元のものを使っていることはとても良いことなので、継続して欲しい。 担当課の方に質問だが、今まで、農林課や水産課との連携は図っているのか。</p> <p>農林課や水産課とは直接関係してはいません。 漁協や産直から材料を仕入れて食育をしています。</p> <p>子ども達も、だんだん魚を捌かなくなっている。親が捌かないと捌けない子供たちも増えてくるため、こういった取り組みは重要だと思う。引き続き頑張してほしい。</p> <p>参考として、市には地産地消計画があります。地場のものをしっかりとりましょう、その一角に給食で食べましょう、農林、水産はなるべく地元消費を増やしましょう、そういう教育をしていきましょう、という計画です。今回の事業もそうですが、給食でもそういう日を設け、地場のものを食べながら食育を通して、地産地消を深めていきましょう、自給率も高めていきましょう、という計画を進めています。</p>
<p>Q：委員長</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員長</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員長</p>	<p>今後、事業をどのように進めていこうと考えているか。</p> <p>子どもと保護者への食育は必要と考えています。 健康課では、現在第3次宮古市食育推進計画の評価を行っています。評価を踏まえ、来月から食生活改善推進員協議会と学校教育課も含めて方向性について検討する予定です。</p> <p>この事業をブラッシュアップして継続する考えか。</p> <p>具体的な話には至っていませんが、今まで培ってきた方法を生かして事業を行いたいと考えています。</p> <p>食育は人間にとって一番大切なところだと思うので頑張してほしい。</p>

■ 昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～
【昭和通りのおかみさんもてなしたい】

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	<p>大型客船などによる外国人観光客が増えていると思う。盛岡市が、アメリカニューヨークタイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に選ばれたが、同じように宮古市もなれたら良いと思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。</p>
A：昭和通りのおかみさんもてなしたい	<p>みちのく潮風トレイルがイギリスのタイムズ紙で取り上げられました。東京都に次ぐ4位に入り、外国人が宮古に来る機会が増えています。新聞の効果の大きさに驚いています。</p> <p>客船の観光客が街に繰り出したとき、身構えずに自然に出迎えができたなら良いと思っています。</p>

■ 社会的孤立を支援する事業【社会的自立支援共同事業体】

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員長	<p>具体的には難しいと思うが、潜在的なひきこもりの数はどの程度を見込んでいるか。</p>
A：社会的自立支援共同事業体	<p>内閣府の調査では、全国で146万人と推定されています。このときの出現率は約2%となっており、この割合を宮古市内の14歳から64歳までの人口に置き換えると約900人となります。また、もう一つの参考値として、秋田県藤里町で行った全戸調査によると出現率は約8.7%であり、同じく宮古市に置き換えると、約2,100人となります。幅はありますが、900人から2,000人程度と考えています。</p> <p>この事業を始めてから15年間で約100人を超える人と接触してきました。約半数の人たちは、結婚や就職、進学という何等かの形で前を向き始めました。</p> <p>ただし、参加した人は、大分、前に進みかけている人です。潜在的な人の掘り起こしが、最も大事だと思いますが、中々そこへは踏み込めず、掘り起こしが1番難しいと実感しています。</p>

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>33名の利用者のうち、進学または就職した3名について、その後の定期的なフォローはあるか。</p> <p>もちろん、その後もフォローが必要です。 今までの経験から、10年以上も連絡がなかった人から突然連絡が来て、再び相談に行きたい、という声もあるで、終わりがありません。支援はいつまでも続くということを実感しています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>潜在的な人の掘り起こしが難しいというのは、マンパワー不足ということか。それとも、アプローチの方法が難しいということか。</p> <p>ひきこもりの場合、家族を含めて地域社会から孤立している例が多く、アプローチの方法が難しいと感じています。 例えば、民生委員から情報提供があった場合に、直接訪ねる等はできません。 また、本人を訪ねることは難しいと考え、まずは家族と関係性を築くことを大事にしていますが、家族そのものが社会から孤立している傾向が強くなります。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：担当課</p> <p>Q：委員</p>	<p>アプローチがかなり厳しいということは察しが付くが、担当課はどう考えているか。</p> <p>同じように感じています。 直接福祉課の窓口相談に来るケースもありますが、本人はなかなか表に出て来ません。家族の支援から入ることが大事だと考えています。 また、市内にいくつか相談機関があるので、内容によってつなぎ先を考えて対応しています。</p> <p>民間の力と行政の力、それぞれの良いところを取り合い、うまく潜在的なところを掘り出していきたい。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>就職された方は、ハローワークで探すのか。もしくは、企業に直接紹介したりするのか。</p> <p>経験上、ハローワークを訪れる例はすごく少ないと感じています。知人や、事業で体験した時の業者とのつながりで就職する形が多いです。</p>

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	支援事業の中で、状態がよくなってきた方を、ハローワークに紹介する、というつながりがあるのかと 思っている質問だった。

■ 「鍬ヶ崎に賑わいを！！」港町鍬ヶ崎の賑わい創出事業【鍬ヶ崎元気市の会】

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	出店数が減った理由は何か。 また、支出の決算において、予算から 40～50 万程度 の増減があるが、その理由は何か。
A：鍬ヶ崎元気市の会	第 1 回目の元気市の開催がコロナ禍であったため、 県内外共にイベントの開催が少なかったことで、元気 市に出店者が集中しました。しかし、令和 3 年度から 徐々にコロナが落ち着いてくるにつれて様々なイベン トが増えたため、出店者が分散し、出店数が減少した と考えています。 そこで、今年度はなるべく他のイベントと重ならない 4、6 月と、これまで開催しなかった 12 月と、令和 5 年度に開催して反応が良かった 3 月と、時期を変更 してイベントを実施しています。 予算に関しては、役務費 494,000 円の減額が大き く、元々は広報みやこへの広告折り込みを予定してい たものを取りやめたことが理由です。 出店者数の減少により収入が減少した部分の調整の ため、一昨年からはじめた鍬ヶ崎元気市の公式 LINE を活 用し、安く、かつ広範囲に情報発信できることに重き を置きました。登録者数はもう少しで、2,000 名を超え ます。予算をかけずに多くの人に広報できるよう取り 組んでいます。
Q：委員	事業費の増額分の理由は何か。
A：鍬ヶ崎元気市の会	ステージイベントの出演者の都合がつかなくなって しまった際に、代わりにビンゴ大会等の催しに変更し たため、ステージ出演謝礼金は減りましたが、需用費 が増えたことが理由です。
Q：委員長	令和 6 年度も 4、6 月はすでに開催済みで、出店者 を増やす対策として他のイベントと重ならない時期に 調整したと思うが、効果はどうか。

発言者	内容及び発言要旨
A：鍬ヶ崎元気市の会	4月から10月はやはりイベントが多い時期となっています。12、3月で増えると見込んでいます。
Q：委員 A：鍬ヶ崎元気市の会	<p>中学生のチャレンジショップについて、どのような店を何店舗予定していたか。</p> <p>市内のパン屋のパン販売や、中学生と小学生以下の子どもの交流を目的とした駄菓子販売を予定していました。また、共同募金会と共同し、ヨーヨー釣り等の益金を寄付するという活動を考えていました。</p>
Q：副委員長 A：鍬ヶ崎元気市の会	<p>コロナ禍の回復に伴い、出店者が分散して減っているということは残念に思う。</p> <p>鍬ヶ崎で生まれ育ったため、資料の写真の場所がすぐにわかる。同級生の3割ほどがLINEでつながっており、ほとんどの人が宮古を離れていても、鍬ヶ崎の話をして、鍬ヶ崎のことを知りたがっている。</p> <p>その中で、元気市の活動はすごく良く、来場者がお互いに昔の話をできることは同窓会のような感覚があると思う。「懐かしさ」をどのように継続していくかは団体の課題でもあり、自分自身が担う課題でもある。写真の掲載は非常に良い活動である。</p> <p>そこで、今後の活動でお願いがある。鍬ヶ崎は津波で多くの民家が流され、写真等が残っておらず、見たくても見る機会が中々ない。以前、地元の衣料店の方が作成していたような、通りの写真の店の部分をクリックするとその店の外観の写真が見られるといったものを、鍬ヶ崎の古い通りの地図で整備していただきたい。注目が集まり、存在感が高まっていき、集客につながると思う。また、写真の展示のみならず、ネット等でも見られるようにしてもらえると良い。</p> <p>おっしゃるとおり、もう少し見たいと、片付けの最中も見ている方もいました。会場以外でも見られるように、今後考えていきたいと思います。</p>
Q：委員長 A：鍬ヶ崎元気市の会	<p>新規事業ということで、反省や活かしていきたいところなど、総括を聞きたい。</p> <p>出店者の減少について、他のイベントとの調整ができなかったため、次回12月、3月のあまりイベントのない時期に、なるべく早めに案内し、参加を募りたいと思っています。また、皆様から頂いたご意見なども生かしながら、今年度も進めていきたいと思っています。</p>

■ こどものまち「みやっこタウン」を軸とした小学生のキャリア教育事業とネットワークの形成【NPO 法人みやっこベース】

※八島委員は団体に所属していることから、評価から外れる。

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員長</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>2枚目のスライドにあったように、課題①子供の体験活動、キャリア教育の充実については実施した成果があったかと思うが、②若年層の人口流出についての手応えや、今後に生かしたいことを教えてほしい。</p> <p>長期的に考えていく必要があり、他の要因も関係しているため、事業をやったことによる成果があったとは中々言いづらいと思っています。</p> <p>しかし、出店していただいた企業の方によると、他のイベントに出店をしたときに、「みやっこタウン」で参加してくれた子どもが声をかけてくれたり、連絡をくれたりということがあったそうです。地元の企業や人のことを知っていく、関係がつながっていく、というプラスの効果はあると思います。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p> <p>Q：委員</p>	<p>市内の 27 の企業や団体が協力して運営できたとのことだが、どのように募集したのか。</p> <p>2016 年から始め、昨年度で6回目の事業であり、ほとんどの企業が継続的に参加していただいています。当初は青年会議所の方々と一緒に実行委員会を組んでいたため、そのつながりから声をかけ、協力いただいた企業に対し案内しています。</p> <p>また、子どもや保護者から「こういった仕事がしたい」という希望が上がった時は、実行委員会から声掛けをし、少しずつ増えていきました。</p> <p>子供たちが様々な職業にふれあえるチャンスだと思う。大変だと思うが、どんどん企業を増やして色々な職業体験ができるようにしていただきたい。</p>

■ 企業の魅力を調査発信する取材型インターンシップ事業

【NPO 法人みやっこベース】

※八島委員は団体に所属していることから、評価から外れる。

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員長</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p> <p>Q：委員長</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>今年度の企業数について、スタートの数としては満足しているということだが、今後は何社くらいを目指していくのか、また学生の参加人数の目標はあるか。</p> <p>企業数は8社で、1社につき学生1～2人を受け入れていただき、8～16人を目指しています。</p> <p>現在募集中で、9名の応募があります。サポートも必要になるので、一度に多くの企業や学生の受け入れはできませんが、毎年続けていくことが必要だと思っています。</p> <p>継続していき、理想としてはどのくらいの企業の受け入れを目指しているか。</p> <p>最終的な目標値は設定していません。企業が、新しい人材を求めて積極的に採用活動を行うようになったり、インターン生の受け入れを継続的行ったりすることを目指したいと考えています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>宮古市と関わりのなかった学生がインターンシップに参加してくれた、とのことだが、具体的な募集方法はどのようなものか。</p> <p>関東から参加予定だった1人が直前で体調不良になったため、県内2人、関東3人、関西2人、計7人での実施となりました。</p> <p>スライド7「プロジェクトインデックス」のページがあり、全国のインターンシップの情報を掲載しているポータルサイトになっています。宮古市の取材型インターンプログラムを掲載したところ、インターンを希望する学生が自ら見つけて応募をしてくれました。</p> <p>関東から参加した1人はボランティア等で宮古に来たことがありましたが、それ以外の6人は来たことがありませんでした。</p> <p>地域というよりは、実施している内容やどんな経験が積めるか、企業の実態は見られるか、という点に関心を持ってくれたと考えています。</p>

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>宮古に関わりのなかった人々が、宮古を知り、宮古に来たいと思ってくれることはとても大事なことだと思う。頑張してほしい。</p> <p>スーパー玉木屋のインターン生は、後日、旅行で立ち寄り、再会を喜んだと聞いています。そのような関係人口の増加にもつなげていきたいと考えています。</p>
<p>Q：副委員長</p>	<p>40年程前は、いずれ戻ってくるなら一旦宮古を離れてもいいかな、という時代もあった。現在は、どこの自治体も人材の確保や定着が難しく、人材確保に苦労していると聞く。</p> <p>その中で、事前に仕事の内容を十分に知ってもらうことにより、企業のイメージアップにつながり、インターン生も職業選択のミスマッチが避けられるという効果にもつながると思う。</p> <p>また、参加企業の中に宮古市役所も取り込み、人材確保に努めるのも一つの手であり、一考する時代なのではないか。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>参加した企業として、手間も少なくインターン生を非常に受け入れやすかった。2回目の参加の時も、前回のインターンの報告を事前に見てくれており、前もって情報を得られるということは大事なことだと思った。学生はしっかりと調べてくれるので、様々な業種の情報を常に示しておくことが大事だと実感した。</p> <p>委員には本事業と、冬休みに行った「実践型インターンシップ」という別の事業にも協力いただきました。冬の事業に参加した学生が、本事業の記事を見て来ていただいていたことを初めて聞き、嬉しく思っています。</p> <p>情報公開について、「note」という Web サイトの記事を掲載していますが、独自でやっているため閲覧数が少ないと感じています。将来的には、宮古市の移住・定住のポータルサイト等に企業の情報として載せられたら、より効果の高いものになると考えています。</p>
<p>Q：委員長</p>	<p>宮古市はインターンシップに積極的な企業が少ないと聞いたことがあり、協力企業を見てもホテルやスーパー等、業種が絞られている。情報を発信することで、他の企業も巻き込んでいければいいと思う。</p>

■ 各委員からの振り返りなどについて

評価結果集計中に、本日の振り返り及び意見などについて、委員長から各委員と事務局へ伺った。以下、発言内容。

発言者	内容及び発言要旨
委員	<p>せっかくすばらしい事業がたくさんあるので、先ほどの事業でインターンの方たちが来ていることや、こういう記事を書いてくれたということを宮古市のSNS等で発信し、リンク等があれば、自分に関わるものは読んでみたいと思うのではないかと。定期的にイベントや事業なども紹介していただきたい。</p>
事務局	<p>市には「地域創造基金事業」という事業もあります。その事業では特に、取り組んでいる団体から情報をいただき、市の公式LINEやSNSで情報発信を行っています。</p> <p>協働事業についても、開催前の案内や開催後の報告など発信をすることは大事だと思うので、ぜひ行っていきたいです。</p>
事務局	<p>昔は広報紙みやこが媒体の全てでしたが、現在はHPやSNSなどいろんなものが出てきました。特にSNSは非常に重要性が増しています。</p> <p>高校生議会等では、発信が全く足りないと高校生から意見をいただいています。委員の皆様は何をお使いでしょうか。</p> <p>例えば、市の公式LINEを知っている方、友達登録している方はいらっしゃいますか。（2人が手を挙げた）</p> <p>では、他の方は例えば、XやFacebookで市の情報を見かける時があるでしょうか。</p> <p>委員は何を見ますか。</p>
副委員長	<p>HPを見るが、色々なイベントでも、市が関係している情報しか載らない。全く民間だけで催されるイベントについては除外されると思うが、市の関わる割合によっては、載せてもらえると良い。</p>
事務局	<p>取材にもたくさん行きますが、広報だけでは載せ切れず、SNSに回している記事もあります。</p> <p>メディアを増やし、様々な事について行こうと、一生懸命取り組んでいるところです。市もアンテナを高くしていきたいと思っていますが、皆様からも要望をいただきたいと思っています。また、情報をいただければ取材にも伺いたいと思っています。</p>
委員	<p>防災無線で元気市の発信をしていたが、判断基準は何か。</p> <p>防災無線は聞こえなくても、すぐにその内容がSNSで配信されることはすごく良いことであり、ありがたく思う。</p>

発言者	内容及び発言要旨
事務局	<p>全く市と関係のない情報は発信出来ませんが、協働事業や共催事業などは発信していきたいと思っています。</p> <p>最近は、「うるさい」、「関係ないことを放送するな」等、否定的な声もありますが、放送した内容がそのままXでも配信され、「いわてモバイルメール」を登録している方にはメールで文字情報として届くので、活用していきたいと思っています。</p> <p>HPは自らアクセスしないと情報が見えないため、プッシュ通知で届くような、LINEやXなどでの発信の機会を増やしたいと思っています。</p> <p>また、インターンシップについては、市内企業の方から一生懸命受け入れたいという申し出もたくさんいただいておりますが、インターン生と企業をつないでくれる人の有無が、問題と思っています。NPO 法人みやっこベースがコーディネートし、企業と学生がマッチングできる機会があるので、活躍を期待しています。門は広げていても、学生に情報を届ける方法が最大の課題だと思っています。</p> <p>例えば、遠くに住んでいる学生が、宮古に来て就職活動する時に旅費を支給する事業があることはご存じでしたか。このような情報が届いていません。</p> <p>また、学生が就職マッチングフェアに行ったり、インターンシップに参加したりする時には、旅費や宿泊費を応援する制度があります。宮古市出身の子だけでなく、色々な学生を応援する事業もありますので、また機会があれば委員の皆様にも情報提供したいと考えています。</p>

■ 評価結果

評価結果について、以下の評価結果表のとおり生活課から報告した。協議結果は、事務局でまとめ、市長に報告する。

【令和5年度実施提案事業の評価結果】

※満点 50 点

No	事業名	事業実施主体名	平均点	30点未満人数
①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会	43.6	0
②	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」の年間事業	みずき会	41.5	0
③	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい	44.3	0
④	めぎせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会	42.6	0
⑤	昭和思い出探し ～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい	39.6	0
⑥	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体	40.4	0
⑦	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出	鍬ヶ崎元気市の会	43.9	0
⑧	こどものまち「みやっこタウン」を軸とした小学生のキャリア教育事業の実践とネットワーク形成	NPO 法人みやっこベース	44.3	0
⑨	企業の魅力を調査発信する取材型インターンシップ事業	NPO 法人みやっこベース	44.3	0

11 その他

令和7年度宮古市提案事業募集のスケジュールについて、改めて確認を行った。

12 閉会